

クラブインフォメーション



発行:(財)鳥取県体育協会 〒680-0944 鳥取市布勢 146-1

TEL:0857-28-1288 FAX:0857-28-1399 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com

平成23年12月

第31号

鳥取県総合型地域スポーツクラブ西部地区ウォーキング交流会開催



集合写真



お腰掛の岩



名和神社



意見交換会

平成23年11月5日(土)、総合型地域スポーツクラブ西部地区交流会を、「スポーツしよ大山」の企画・運営の下、ウォーキングを行いました。

参加クラブは、境スポーツクラブのスタッフ・会員約30名が参加し、「スポーツしよ大山」の生田清理事が「あいにくの雨ですが、雨の日でないと見られない景色がある、それを楽しんでほしい。」と挨拶され、雨の降る中スタートしました。



【コース概要：太平記コース5km】

名和公民館⇒お腰掛の岩⇒元弘帝御着船所の碑⇒住吉神社⇒名和神社⇒名和公屋敷跡⇒長綱寺⇒的石⇒氏殿神社⇒故伯耆守名和君碑⇒三人五輪⇒名和公民館

歴史にまつわる関連スポット

- | | |
|---------|---|
| 「お腰掛の岩」 | 後醍醐天皇が隠岐から脱出の際、体をやすめるため腰かけたと言われる岩 |
| 「名和神社」 | 名和長年と一族42名を祀った神社 |
| 「長綱寺」 | 名和長年が、父・行高の60才を祝って建てた隠居所が始まりとされる名和一族の菩提寺。 |
| 「的石」 | 弓の名手であった名和長年が稽古の際、的にしたと伝えられるタテ170cm、ヨコ150cmの大きな石。 |
| 「三人五輪」 | 名和長年と息子たちの墓と伝えられている。 |

ゴールの後、名和公民館会議室にて、1人ずつ自己紹介と本日の感想を述べて交流会を終了しました。

いつも車で素通りしていた名和町が史跡の多い街であること、山と海岸が一度に楽しめるコースもあることがわかりました。公民館にはコースマップが置いてあり、いくつかのコースを楽しむことができるようになっていきますので、各々で歩いて見られるのもいいと思います。今回は雨の為「大山」の姿を見ることができなかったのですが、今度は天気の良い日に訪れてみたいです。皆さんも自分の住んでいる街を歩いて、新しい発見をしてみてください。



参加者の声

- ・自然の中を歩くのは気持ちいいものだ改めて感じました。
- ・名和町が歴史ある街だということがわかった。
- ・普段平坦な所ばかりしか歩かないので、起伏のある所を歩けて楽しかった。
- ・いつもは役員なので、個人として楽しく参加させていただきました。
- ・何度か歩いた道だけど、毎回新たな発見があって面白い。



なんと！桜の花が咲いていました。

中国ブロッククラブミーティング2011が開催されました



11月26日（土）、27日（日）の2日間、山口県セミナーパークにて、総合型地域スポーツクラブ全国協議会主催による「中国ブロッククラブミーティング2011」が開催されました。

1日目は創設支援クラブ、2日目は自立支援クラブを対象とし、各県先進クラブの事例発表を聞き、情報の共有化と、クラブ間の交流並びに各都道府県総合型クラブ連絡協議間の連携・協力体制をより一層促進することなどを確認しました。

鳥取県からは南部町の設立準備委員会、スポーツしよい大山、打吹スポーツクラブ、ほうきスマイリースポーツクラブが参加しました。また、事例発表者として、「2つのクラブが合併して活動（中規模クラブ）」というテーマで財団法人北栄スポーツクラブ（北栄町）が発表しました。



北栄スポーツクラブの田村弘典さん

また、1日目は、“NPO法人スポーツクラブ21はりま”の事務局長：坂口正信氏（兵庫県加古郡播磨町）が「行政と一体となった総合型地域スポーツクラブの取り組み」をテーマに次のように述べられました。

- ・「行政との協働と参画によって、「やろう！見よう！育てよう！スポーツタウンはりま」をかかげクラブ運営をしている。
- ・兵庫県から1クラブ当たり1,300万円の運営資金の補助があり、この財源を元にスタート切れたことが大きい。（立ち上げから現在も継続している。）
- ・行政が半年にわたり町内すべての住民に繰り返し説明会を行い理解してもらった。
- ・人がクラブを育てる。まず、先頭を切って頑張ってもらいたい。
- ・地域になくてはならない存在がクラブの使命であり、重要な要素になるであろう。



分科会の様子

2日目は、事例発表の後、分科会（大規模・中規模・小規模クラブ）に分かれて、各クラブから、予め出されていた課題等の意見交換が行われました。

【課題】

（指導者・クラブハウスの確保）（助成金終了後の運営の仕方）（総合型地域スポーツクラブの周知方法）

【解決策】

- ・会員の中から指導者になってもらい、指導者が指導者を育成するという風に循環させる。
- ・古民家をクラブハウスにしているクラブもある。
- ・会費に見合った指導ができていれば、会費が上がっても会員は逃げない。
- ・経費の内容を会員に理解してもらい会費の設定をする。
- ・各種助成金の活用。
- ・自動販売機設置による収入。
- ・5年間の助成期間に、お金が回るシステム作りをすること。
- ・主はボランティアの力。
- ・回覧・チラシの全戸配布・ロコミ・新聞掲載等
- ・説明会

最後に、総合型地域スポーツクラブ全国ネットワーク常任理事の長尾政則氏より、「情報は待っていても来ない！自分の方から研修会、全国の色々な活動をしているクラブに出かけて行き情報交換をして、クラブ運営に役立ててほしい。後継者のことも考えながら、地域の方をクラブに取り込み、地域になくてはならない仕組み作りをして下さい。」と話されました。

その他の意見として、「行政が総合型クラブについてもっと勉強してほしい」、「行政担当者がコロコロ変わって困る」、「広報のやり方についても、回覧・チラシの全戸配布・新聞掲載などされているようだが、なかなか周知されない」などがあげられました。

参加されたクラブは、共通の悩みを抱えています。積極的に研修会等に足を運んで情報を仕入れクラブ運営に役立ててほしいです。参加された皆様、お疲れさまでした。